

茂原市市民活動支援センターの
あり方検討委員会

「中間支援団体の役割」

2017/10/18

認定NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

代表理事 牧野昌子

NPOクラブ紹介・・・組織の概要



**市民が地域力、福祉力、市民力 チカラをあつめる、
つなぐ、広げる 市民主体の地域づくりを！**

- 設立：2000年10月 NPOクラブ設立
2001年2月 特定非営利活動法人認証
2016年2月 認定NPO法人の認証
- 会員：運営会員27名、賛同会員113名
- 役員：13名 スタッフ：11名、ボランティアスタッフ：7名
- 事業高：4,000万円程度（2017年予算）
- 市民活動支援基金「一歩くん基金」：2000年～2009年
9回助成実施：67団体に総額1,714万円助成

NPOクラブ紹介・・・事業内容

1. 相談事業・NPOの支援事業

- ・法人設立、会計、マネジメント相談
- ・NPO応援講座企画・運営、講師派遣
- ・NPO専門家相談ネットワーク(税理士、社労士、弁護士)と連携

2. 地域づくりのためのコーディネート事業

- ・NPOと企業、行政との連携、協働事業、アドバイザー派遣
- ・ちばNPO協議会事務局、景観まちづくり千葉協議会事務局
- ・四街道市みんなで地域づくりセンター運営事業
- ・東日本大震災の被災者、避難者支援事業、浪江町復興支援員サポート事業
- ・多世代交流拠点「おおなみこなみ」運営事業(千葉市花見川区検見川町)
- ・とみさと市民活動サポートセンターまちづくりコーディネーター育成事業

3. 広報事業(情報発信と情報交換の「場」づくり)

- ・団体HP、ブログ、twitter、facebookページ活用
- ・ちばNPO情報館(CANPAN)運営
- ・千葉の地域課題解決サイトCHIBAKARA運営



ボランティアセンターと 市民活動支援センターの連携

相互の役割を理解したうえで、強みを活かしながら視点で連携
利用する市民目線での対応、ナワバリ？役割分担

	登録・認定	得意分野	相談者
ボランティアセンター 社会福祉協議会は 地域福祉の老舗	個人 ボランティアグループ	地域福祉 高齢者、子ども支援	市民 ボランティアサー ビスを受けたい人
市民活動支援セン ター 新参者	ボランティアグループ 自治会 まちづくり協議会 NPO	分野問わず NPOの20分野	団体、個人 事業者 企業 学校、行政

市民活動団体と ボランティアの関係

ボランティア 個人

収益・報酬

原則無報酬
収益を目的とし
ない

目的
参加につ
いて

自己実現、自己満
足の活動も可
参加する側

市民活動団体 組織

収益を上げるが非営利
報酬を受けるスタッフも
いる

目的達成が第一議
参加を促す側

協力・連携の事例

とみさと市民活動サポートセンターの場合

- ・「ちくちくカフェ」ママの手仕事カフェ、仲間づくり支援
毎回10名参加
社協子育てサロン等、子育て支援プログラムの案内
- ・乳幼児の託児をボランティアセンターが調整
- ・夏休み小学生ボランティア体験講座
62名参加、7団体受入れ協力
- ・ボランティアグループの推薦
- ・福祉体験プログラムの提供
- ・ボランティアセンター登録者にむけた講座案内
「居場所づくり講座」「ちらしづくり講座」

協力・連携をすすめるのは、市民・利用者のため

- 市民活動サポートセンターで受けた相談でもボラセンにつないだ方が解決できる案件をつなぐ。
- 地域づくりに関わる資源（人、もの、情報など）の情報共有をすすめる。
- 市民には、両方を便利に使い切ってもらえるように。

ボランティアも市民活動も支援、育成する団体として、
東京ボランティア・市民活動センター（東京都社会福祉協議会）
千葉県ボランティア・市民活動センター（千葉県社会福祉協議会）

相互に貢献する協力体制をつくり、
市民、市民活動団体が取組む地域づくりに
役に立つプログラム、事業を提供する。

なぜ、市民活動を支援するの？

- ・市民活動団体とは

民間で主体的、公益的、非営利の活動を継続する組織
地域の課題を解決するために解決行動をする団体

- ・特徴は

機動性(すぐに対応、話が早い)

柔軟性(新しい発想の解決活動、制度の壁がない)

- ・行政、既存の機関だけでは地域の課題解決が進まない。
多様な団体と協働することで課題解決がスピードアップ

地域づくり、まちづくりとは？

- ・地域の課題を、まずは、今ある資源を掘り起し、活用し、みがき続けることで解決すること
- ・地域に新しい価値をつくること

- ・「イイね」をつくる、共感を広げる、裾野を開くこと
- ・市民の主体性を集める
- ・より多様な人、多様な団体と協力・連携、協働

地域の課題とは？

- 誰もが知ってる課題

人口減、少子高齢化、生産人口減少、耕作放棄地、空き家、里山の荒廃、公共交通機関の廃止

- 見えない課題（埋もれている課題）

格差社会、子どもの貧困、若者の非正規雇用
30代、40代のひきこもり、介護者の孤立化

- この先、起こる課題

税収の減少、
既存公共施設、インフラの補修、整備費増大、
後期高齢者の増加、社会保障費の増加

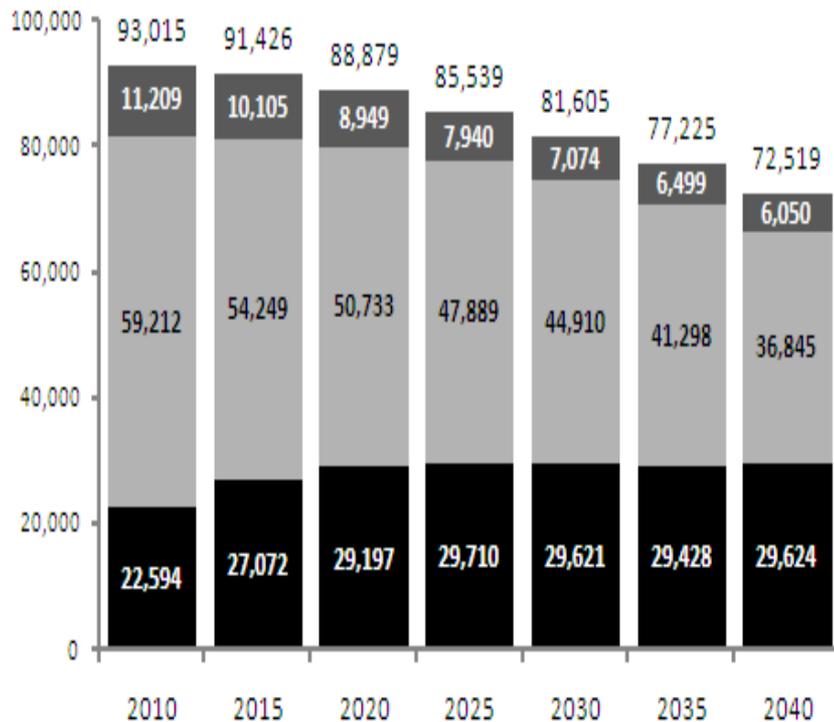
茂原市の人口推移

[2017年10月10日]

本市の人口は2002年（平成14年）をピークに減少に転じており、2040年（平成52年）には2010年（平成22年）に比べて約2割減となる約7万2,000人まで減少すると見込まれています。

このうち、65歳以上が全体の4割を占めることとなります。

茂原市ホームページより引用



2040年 23年後には、
人口20%減少
65歳以上 40%

町の景色が変わる！

■ 老年人口(65歳以上) ■ 生産年齢人口(15~64歳) ■ 年少人口(0~14歳)

地域の課題解決を進めるには、 どんな支援が必要か

- 課題を見える化、深掘り……調査事業
- 多くの市民に知らせる……広報事業
- 解決活動に必要な資源を集め、提供する
- 解決活動を担う人材を育てる
- 地域づくり団体のネットワークを編む
- 市民活動団体の解決力を鍛える

市民活動支援センター に求められる機能

1. 相談対応力
2. 調査・情報収集力
3. 情報の編集・発信力
4. コーディネート・ネットワークキング力
5. 資源の掘り起し・提供力
6. 人材育成力
7. 政策提言力

市民活動団体の運営資源

- ①**目的**: 何をする団体か、解決する課題は何かを明示
- ②**人材**: 役員、スタッフ、ボランティア、支援者
- ③**情報**: 情報収集、整理、発信
- ④**ネットワーク**: 信頼できる分野ごと、地域ごと
- ⑤**資金**: 自主財源(持ち出し、会費、寄付、事業収益)
他主財源(助成金、補助金、委託金等)

ありがとうございました



お問い合わせ

認定NPO法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

〒261-0011 千葉市美浜区真砂5-21-12

TEL:043-303-1688 FAX:043-303-1689

(平日9:30~18:00)

E-mail: npo-club@par.odn.ne.jp

URL:<http://www2.odn.ne.jp/npo-club/>

賛同会員 募集中です！